3.農業新技術の概要

1)良食味水稲優良品種候補「渡育224号」

道南農業試験場　作物科

1.はじめに

北海道南部では、道内唯一の2類銘柄米「巴まさり」が栽培され、その食味に対する消費者の評価は良好であるが、品質と収量が不安定で、最近の作付率はやや低下し始めている。近年、道央部向けの良食味品種「きらら397」が誕生し、道南部では早生種として栽培されているが、基幹品種として「巴まさり」に置き替える良質、良食味品種の育成が強く望まれている。

2.育成経過

本系統は、中央農試で晩生良食味品種「しまひかり」、中生良質品種「みちこがね」、中生耐冷良食味品種「ゆきひかり」の3系交配を行い、鹿児島県で世代促進を図ったF4種子を道南農試が譲り受け、その後、選抜・育成した系統である。

3.特性の概要

本系統は、良質、良食味が特徴で、食味は「巴まさり」「ゆきひかり」に優り、「きらら397」並で、玄米の品質、等級は「ゆきひかり」に優る。出穂期は「晩生の中」であるが、登熟が早く、成熟期は「マツマエ」より早い「晩生の早」である。初期の分けつが少なく、偏穂数型であり、稈長は「巴まさり」より短く、穂長は「巴まさり」よりやや短い。粒着密度はやや疎である。障害型耐冷性は「巴まさり」より強く、「やや強」。いもち病耐病性は「巴まさり」「ゆきひかり」よりやや優り「中～やや強」。耐倒伏性は「巴まさり」「ゆきひかり」に優り「やや強～強」である。

4.普及態度

北海道南部の産米の品質と食味水準の向上のため、渡島南部、檜山南部と西胆振およびこれに準ずる良地帯の「マツマエ」の全部及び「巴まさり」「ゆきひかり」の一部に替えて栽培する。本系統は、初期の分けつ性がやや劣るので健苗を用い、栽植密度は25株/㎡以上とし、登熟性がよいので刈遅れないようにとくに留意し適期刈りを励行すること。

表1　　「渡育224号」の育成地における特性概要

品種名＼形質	早晩生		草型	出穂期(月日)	成熟期(月日)	登熟日数	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	芒性	耐倒伏性
	出穂期	成熟期									
渡育224号	晩の中	晩の早	偏穂数	8.10	9.27	48	71	16.7	457	稀・短	や強～強
マツマエ	晩の中	晩の中	偏穂数	8.11	9.30	50	67	16.1	461	稀・短	強
巴まさり	晩の晩	晩の晩	穂数	8.14	10.5	52	76	17.6	537	稀・短	や強
ゆきひかり	中の早	中の中	偏穂数	8.5	9.21	47	69	17.5	528	中・短	中

品種名＼形質	障害型耐冷性	葉いもち病耐病性	穂いもち病耐病性	収量(kg/a)	玄米千粒重(g)	検査等級	玄米品質	食味	アミロース含量(%)	蛋白含量(%)	アミノグラム最高粘度(B.U.)
渡育224号	や強	中～や強	中～や強	51.1	22.1	1下	上中下	上中下	19.5	8.0	518
マツマエ	や強	中～や強	中～や強	52.4	23.4	2上	上下	中中	22.7	7.6	413
巴まさり	中～や強	や弱～中	中	49.5	20.9	3上	中中下	上中	22.2	7.6	429
ゆきひかり	強	中	中	49.4	21.3	2上	上下	上中	21.0	7.7	491

注)昭和67年から平成元年の試験結果(中苗、標肥区)による

表2　　「渡育224号」の食味官能試験

基準品種	試験場所	系統名 品種名	外観		香り	味	なめらかさ	粘り	柔らかさ	総合評価	試食回数
			白さ	つや							
ゆきひかり	道南農試	渡育224号	-0.15	0.16	0.15	0.50	0.55	0.27	0.34	0.36	4
		巴まさり	-0.61	-0.33	-0.14	-0.16	-0.41	-0.23	-0.20	-0.31	3
	普及所	渡育224号								0.62	7
		きらら397								0.63	7
きらら397	道南農試	渡育224号	-0.15	0.10	-0.00	0.29	0.22	0.41	0.17	0.20	3
	上川農試	渡育224号	0.00	0.29	0.00	0.00	0.43	0.29	0.29	0.43	1
しまひかり	道南農試	渡育224号	0.09	0.05	0.04	0.16	0.25	0.21	0.08	0.17	5
日本晴	道南農試	渡育224号	0.10	-0.08	0.08	0.23	-0.17	-0.22	-0.17	0.05	2

注)「日本晴」は滋賀県農試産

目次へ戻る